

令和2年度 3学期 始業式

新年明けましておめでとうございます。令和3年がスタートしました。昨年は、コロナ禍でさまざまな苦労があったと思いますが、新しい年を迎え今年はその苦労した経験を生かして頑張っていきたいと考えています。

こんな言葉があります「人間は困ると知恵が出る」。つまり、人は「乗り越えるのに難しい壁にぶつかったときに、いろいろ考え工夫して先へ進む良い方法を考える。」という事だと思えます。

さて、1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われるように、3学期は短い学期でもありスピードを問われるまとめの学期でもあります。

明日、1月7日からは、三年生は学年末テストが始まり、今週末には、バレーボールの県大会、2月には学年末テスト、県の到達度テストがあります。

そして、3月3日からは沖縄県立の高校入試があります。3月後半には、野球部の全国大会。

そのような中、先にも述べましたが、私たちは困難な壁を「知恵をしぼって乗り越えていきたい」と思っています。

3学期を迎えるにあたり、みんなで考えてほしい事があります。それは、宜野座中学校の「学校教育目標」です。「覚えていますか?」それは「①自ら」「②心を磨く生徒」「③頭を磨く生徒」「④体を鍛える生徒」です。意識して学校生活を送っていましたか。なかなか覚えにくいし、意識できていなかったかも知れません。

そこで、教育目標を普通の学校生活で使えるように①から④の4つの言葉の頭文字を合わせて4字熟語にして「自心頭体 (じしんとうたい)」と覚えて下さい。これを宜中スピリッツと名付けます。

宜中スピリッツ→「自心頭体」。例えば道徳の時間は「心」、清掃時間も「心」でしょうか。勉強時間は「頭」。読書の時間は「心」「頭」。体育の時間、部活動の時間は「心」「体」というふうに常に「何を磨いているのか」を意識して行動してほしいです。大切なのは常に「自ら」です。

他の学校ではこんなスピリッツもあります。具志川高校のスピリッツは「雲外蒼天 (うんがいそうてん)」。 (見通しの利かない雲の中でも努力して突きぬければ明るい青空が待っている)。

球陽中学校・球陽高校のスピリッツは、「倜儻不羈 (てきとうふき)」(周りに惑わされること無く、信念を持って歩んでいけ)という意味です。また、興南高校の「魂知和 (こんちわ)」は全県でも知られています。

宜野座中も「自心頭体」を合い言葉に頑張してほしいです。3年生には、卒業して進学したあと、大人になって働いても、苦しい場面に出会ったとき、中学生の頃、努力したことを思い出す言葉として胸に刻んでほしいです。

最後に、最近の活躍で話題になった相撲とりの「照の富士」関がテレビのインタビューで話していた言葉を贈ります。「どんな時でも足もとを大切にすること。地道なことは、毎日続けると癖(くせ)になり、癖になって続けると好きになる。練習はそういう物です。」「いやなことでも、小さな努力を毎日続けなさい。それが、成功への近道です。」3学期みんなで頑張っていきましょう。

